

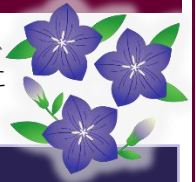


# しののめだより

令和5年度第8号

令和5年9月4日発行

富士東高校情報交換ひろば



2学期が始まりました。9月になっても酷暑が厳しい日々が続いていますが、体調管理に気を配りつつ、授業・探究・部活動等の充実を目指していきます。始業式には、校長講話の中で、夏休み中に校外活動に取り組んだ生徒ふたりからの報告がありました。提供していただいた原稿をほぼそのまま掲載します。

## 高校生海外インターンシップ（2年生 K.T.さん）

### 海外インターンシップとは？ 参加理由は？

私は8月20日から23日に行われた高校生海外インターンシップでタイに行きました。

まずインターンシップについて説明します。一番気になることは留学との違いだと思うので、簡単に説明すると、留学は一定期間外国に行き教育を受けることで、インターンシップとは一定期間の実習的勤務のことです。インターンシップの目的は高校生が県内企業で就労体験をすることで、将来、県内企業で活躍したり、国際的な意識を高めることです。

私が海外インターンシップに参加しようと思った理由は、もともと海外に興味があり、海外に出て視野を広げたいと思ったからです。以前叔父がタイに海外勤務していた時に家族で遊びに行ったことがあるんですけど、現地です仕事をするというのはどんな感じなのか体験してみたかったので、このインターンシップに申し込みました。

#### インターンシップに参加しようと思った理由

- ✓ 視野を広げたいと思った
- ✓ 海外に興味があった
- ✓ 海外勤務に興味があった
- ✓ 新しい事に挑戦したかったから



### どんな研修？

私の研修した場所は富士市にあるジャトコです。ジャトコとは簡単にいうと自動変速機を作っている会社です。



まず、事前研修と国内研修、海外研修を行いました。事前研修ではzoomを使って、初めて一緒に海外に行くメンバーと対面しました。

国内研修は吉原のジャトコの本社でおこなわれました。

内容は、食堂で昼食を食べ、海外研修先のルール、工場見学、レタス工場の見学です。レタス工場は障がい者の方たちが働ける現場にするために作られたそうです。ジャトコは従業員が働きやすい環境を作るために女性やシニア、障がい者の方々の向けた取り組みが行われていました。働きやすい環境だけでなく、CO2削減の取り組みも行っていました。



ジャトコは日本、韓国、中国、タイ、フランス、アメリカ、メキシコ、の7か国にあり、その中のタイの工場へ研修に行きました。飛行機で羽田から約5時間から6時間です。時差は2時間です。

### 研修を終えて

私がこの海外インターンシップで得たことは7つあります。➡

研修前は自分に自信がなく、やってみたくとも行動をしないう人だったのでとても不安でした。ですが研修後、いろんなことに挑戦してみることで、不安が楽しさに変わりやってみる楽しさを知ることができました。そして少し自信がついた気がします。私は人の意見にとっても惑わされてしまいうんですけど、今は自分の意見をしっかりと大切にしていきたいと思えるようになりました。

2学期の目標は主体性を強めたいと思います。自分の意思をしっかりとてないと挑戦することができないと思います。学校のスクールポリシーにもある主体性を極めていきたいです。

私はこのインターンシップを通して貴重な経験がたくさんできました。絶対にこれから先体験できないようなことをさせていただいて、高校生になってはじめて挑戦してよかったなと思える機会でした。楽しいって思えるようになって考え方も変わったりして、他にも新しいことにチャレンジしたいなという前向きな気持ちになりました。

だからみなさんも少しでもやってみてほしいなと思うことがあればぜひ行動に移してみてください！

### 海外研修の流れ

海外研修の流れを説明します。ジャトコの工場では写真撮影が禁止されていたため、口頭で説明します。ポロシャツ、ズボン、の服装でジャトコの工場へ研修に行きました。タイのジャトコの工場には外に畑があって、食堂で食べるために作られています。タイの工場は日本よりも小さかったです。清潔感には日本と変わりませんでした。そのあとに食堂でタイ料理を食べました。辛い料理を選んだのでタイ料理でもとてもおいしくいただきました。作業体験ではねじ回しの体験をしました。タイムを競い合って、私は2位を取ることができました。最後にタイ語で自己紹介をしました。従業員のひととお話をしました。

ではタイ語で自己紹介をします。「サワディーカー ディチャン チュー キホ カー（こんにちは。私の名前はKです）」

日本の物価に比べて、タイのほうが物価が断然安いです。タイの通貨はバーツで、1バーツが約4円です。大体水が40円くらいです。お札にはタイの王様がかかれています。

タイで静岡茶を見つけました。よく見ると、ノンシュガーと書いてあって、タイで売られているお茶には砂糖が含まれていないお茶と、砂糖が含まれているお茶が販売されていることがわかりました。タイでのアイスは一つ約36円なんです。タイでセブンイレブンを何度も見かけました。セブンの公式サイトを見てみたらタイは日本の次に店舗数が多い国でした。日本の店舗数は2万1327店舗で、タイは1万3134店舗でした。

3日目はタイの観光です。有名な寺院や宮殿を訪れました。



## 第20回日本の次世代リーダー養成塾（1年生 J.N.さん）

きっかけは、不純な動機だった。

学校の掲示板でちらしを目にした時、ふと「憧れのあの人が来そうな内容だな…」と思った。

「日本の次世代リーダー養成塾」とは、2週間福岡で開催されるサマースクールだ。「2週間という長期間、夏の九州、熱く交わされる議論、そしてあの人…。最高じゃないか!？」と浮かれた気持ちになった。そのままフワフワした気分で母に、「このサマースクールに行ってみよう。ちなみに参加費は15万円です!」と相談した。

「そうか。では、君に15万円投資すべきか判断したい。行く目的及び期待できる効果、その体験を人生にどう生かしていくかを含め、2日後にプレゼンをするように。」と指令が下され、背筋に冷たい汗が流れた。

現国が得意な母を、どう誤魔化すか、もとい納得させられるのか。必死にじっくり塾の資料を読み込んだ。

すると、内容が実に魅力的だった。説明文にはこうあった。「未来の原動力となる2週間のプログラム」「地方自治体と経済界がスクラムを組み、全国の志の高い高校生を対象に、日本だけではなく、世界を舞台に挑戦をする人財の育成を目指したサマースクールです。本塾では、自国や近隣諸国の歴史や文化、一般教養を身につけ、多様性を認めることができる国際人になるための素養を磨きます。さらには、一流の講師陣と高校生が熱い議論を交わす合宿生活から得られる衝撃や感動、数多くの発見やかけがえのない出会いが待っています。」と。



講師陣も豪華だった。黒田元日銀総裁や、タノン・ビダイア元タイ財務大臣そして、元国連事務次長赤石康氏など、各界の第一線で活躍している方の話が聞けるのだ。そして、日本中から集った150人の高校生とテーマに沿って議論を交わす、「ハイスクール国会」もあった。

なんだ悩む必要はない、まさに僕が行きたい内容ではないか!

僕は勉強が得意ではなく、将来ナニモノになれば良いのか定まっていなかった。

義務教育が終わったのに、ナニモノにもなれていない。そんな焦りと、もやの中を歩いているような漠然とした不安感に悩んでいた最中だったのだ。

「ナニモノになればいいのか考えるきっかけ作りが欲しい。そしてリーダーになろうとしている高校生や、様々な分野で活躍している偉人の話を聞いたり議論してみたい。」と切に思った。

母に全てを打ち明け、必死にプレゼンし、許可が出た。

バタバタと先生方に準備を手伝っていただきながら、事前課題をいくつかやり、資料を読み込み、静岡県庁で面接試験を受け、合格した。そして7月26日、富士山静岡空港から福岡へと向かった。

この、サマースクールの魅力は大きく分けて2つある。

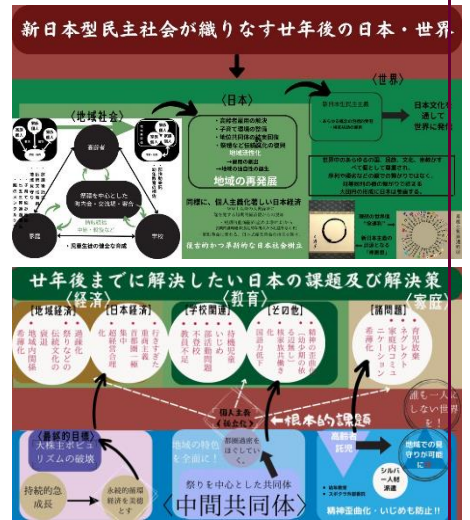
1つは、豪華な講師陣により怒濤の如く続く講座の嵐と、意欲ある高校生と政策についてガチバトルをする、ハイスクール国会だ。

講師陣の中では、スライド2枚で世界情勢を説明した、黒田元日銀総裁の情報の集約と説明の上手さ。文化や宗教が違う人々をチームとしてまとめていく、国境なき医師団村田日本事務局長のリーダーシップの取り方。そして、急遽来られなくなったタイの元首相マハティール氏のかわりにきてくださった、タイの元財務大臣タノン・ビダイア氏による、国民に寄り添った経済復興の仕方。全ての講義に目から鱗が落ち、夢中で講義を聞いた。

また、参加している塾生は、皆向上心がとても高く、すでに国家資格を取得していたり、留学や起業したりしている人が大勢いました。そんな彼らと過ごす日々は毎日がとても刺激的で、政策を考えるために交えた熱い議論はとても貴重な時間でした。このリーダー養成塾に参加したことで、多くを学んだだけでなく、かけがえのない大切な仲間も得ることができました。私はまだ、何者になるか定まっていなかったが、自身の輪郭が見えてきた。話すことだけでなく、聞くことの大切さ、難しさも学べたので、これからもスキルアップをしていきたい。

我らが富士東高校の校訓「己を磨き、他に尽くさん」。そして、日々の学校生活で感じる東高生の自主性の高さや向上心の強さは、まさにこのプログラムに合致しています。

来年も、我が東高生がこの素晴らしい経験ができることを強く望みます。



▲事前課題として取り組んだもの

ふたりとも大変立派な報告でした! キラキラ輝いていますね😊😊😊

